

4～6月の行事等のご案内

- 4月** お花見、松花堂弁当
遠足、感謝の会
- 5月** 母の日、かつお料理
5月人形
- 6月** 父の日、涼風料理
落語イベントなど



今年の桜の満開は例年より早かったです。3月末から、大同大学周辺の桜を観に行きます。



遠足では名古屋港水族館や聚楽園などに散歩へ出かけ楽しい外出を企画します。



柴田小学校の運動会
今年も元気一杯な姿を見て応援します。

写真は、昨年度の風景です。
皆様に喜んでいただけるイベント・行事を行います。

10年勤続表彰者

当施設では、毎年4月に10年勤続者に対して表彰を行っております。今年度は2人の該当者がいました。職員が安心して、長く勤められる職場づくりをすることは、入居者の方に快適な環境を提供することに繋がっていると思います。これからも職員がずっと勤めたいと思える施設になるよう、努力していきます。



苦情案内窓口

お困りのこと、苦情などがあつたら、下記の窓口にご相談ください。

相談員・・・平野、小方
愛知県国民健康保険団体・・・介護サービスに関する相談担当
電話 052-971-4165
名古屋市・・・健康福祉局高齢福祉部介護保険課指導係
電話 052-972-2592

職員募集

特別養護老人ホーム ゆうあいの里大同

詳細はお問い合わせ下さい

介護 パート募集

仕事内容

食事介助

7:30～9:00

18:00～19:00

時給1000円

未経験者歓迎!



TEL 052-612-3030

編集後記

4月といえば、学生時代は学年が変わり浮足立った気持ちになっていましたが、今は新年度を迎える度に、この施設にまた深く馴染むことができたというような安定感を覚えます。さて、4月の末日に天皇陛下が退位され、平成の時代が終わりを迎えます。今回で十二号となるこのゆうあい通信が、平成最後のゆうあい通信となりました。そう思うと、何だか感慨深いものがあります。これからも読んで下さる方に有意義な季刊誌となるよう努めていきますので、よろしくお願いします。

職員コラム

「勤続10年」
以前も同じ特養に6年勤めていましたが、大同病院との連携もあり安心して働ける当施設に魅力を感じ転職してきました。早いもので10年の月日が経ち、今では責任のある立場を任される様になりました。
10年を振り返ってみると、今まで何百人という入居者と出会い、悲しい別れなど辛い時もありましたが、その時も自分に元気をくれたのは入居者でした。
何気ない会話や笑顔から元気を頂き沢山の入居者の方に支えられてきた10年だったと感じています。これからも20年30年と経験を重ね、沢山の入居者にゆうあいの里に来て良かったと心から言ってもらえる様に、スタッフ共々施設を盛り上げていきたいと思ひます。

ゆうあい通信 2019年4月(第12号)

編集・発行 社会福祉法人 大同福祉会 特別養護老人ホームゆうあいの里大同

〒457-8512 名古屋市南区白水町20番地 TEL052-612-3030(代表) FAX052-612-3076

ゆうあい通信

2019年4月 (第十二号)



【理念】

人の心を大切に、
皆様に安らぎと感動を提供することが、
私たちの使命です。

【基本方針】

- ・利用者様の尊厳を守ります。
- ・安全を最優先します。
- ・質の高い介護サービスを提供します。
- ・地域社会に貢献します。

新年度の挨拶

平成31年度を迎え、一言ご挨拶申し上げます。

初めに、日頃より入居の皆様やご家族様そして地域の皆様より、暖かいご支援やご理解を賜り熱く御礼申し上げます。

「ゆうあいの里大同」は、在宅介護が困難になった方々の、第二の自宅だと思っています。入居者おひとりおひとりが、残された人生を楽しく穏やかに過ごし、最後まで自宅である当施設に居て頂きたいとの思いで「看取り介護」にも力を入れております。

数年前までは、「特別養護老人ホームは300人以上の待機があつて、5～6年待ち」と言われていました。現在は、介護度や個別状況にもよりますが、以前に比べ入所までの期間は短くなっており、「要介護3」から入所申し込み頂けます。

また、在宅介護を頑張つていらっしゃるご家族様のご予定に合わせ、ショートステイの受け入れも行っています。お身内やお知り合いの方で介護についてお困りの方がみえましたら、何時でもどんな事でもご相談下さい。

お気軽にお立ち寄りいただければ嬉しく思います。

業務執行理事 入江 京子



乱針繡(らんしんしゅう)
(中国常州市の特産)
(寄贈品リストより)

設備投資

前年度は様々な設備投資を行いました。センサーマットや車椅子、低床ベッド等古くなったものを買替えたり、トイレの老朽化と節水対策のため改修を行いました。また、施設の軽自動車も古くなってききましたので、新しいものに買い替え、ゆうあいの里のロゴを入れてもらいました。そして、各階のテレビを75インチの4Kテレビに買い替えて、入居者が大画面高画質でテレビを見れるようになりました。

当施設も設立から19年目を迎えます。設備が古くなっていたり、使いにくくなっている部分は、どんどん新しい、より良いものに変えていき、入居者の方に快適に過ごして頂ける施設にしていきます。



介護の目標

私たち介護職員の今年度の目標は「より良いサービス」の提供です。

食事、排泄、入浴などのいわゆる3大介護はもちろんのこと、さらなる安全と有意義な日常生活を送って頂けるよう看護・栄養・相談などの他職種協働で入居者一人ひとりに向き合い援助を行なっていきます。

環境面では「臭いゼロ」を目標に掲げ、排泄後の処理方法や食べこぼしによる衣類の汚れや車椅子の汚染、居室の環境整備など「臭いを絶つ！」ための改善をこれまで以上に日々取り組みます。

また入居者の方が怪我なく安心して過ごして頂けるよう介護事故予防に努めます。ベッドや車椅子のセンサー類や低床ベッドの導入など入居者一人ひとりアセスメントを行い、その方にあった最善の方法で介護安全対策を考えていきたいと思っております。そして、当施設の基本方針にもある「質の高い介護サービスの提供」では、介護の知識や技術を向上する事はもちろん、入居者への声のかけ方や表情、接し方を常に振り返りながら、入居者一人ひとりの心に寄り添った介護を目指します。



看護の目標

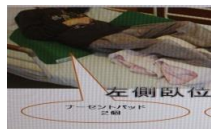
高齢者施設において感染予防と褥瘡予防は重要な課題であり、当施設でも看護の目標として毎年のように掲げています。

感染予防については日々の観察に加え、特に手指と口腔内の清潔保持が重要です。1日3回の食事前に全ての入居者に手洗いを実施し、食後の口腔ケアも丁寧に実施するようにしています。また、ご家族やご本人の承諾の元に肺炎球菌ワクチンやインフルエンザの予防接種を実施しております。

勿論、職員の手洗いや手指のアルコール消毒についても徹底させています。

褥瘡予防対策としては、ベッドに横になっている時の安楽な体位保持のためにクッション等を使用していますが、全ての職員が同じように介護できるよう、ポジショニング写真をベッドサイドに張り出ししています。

今年度も、入居者が肺炎などで入院しないよう、また褥瘡発生「0」を目指していきます。



相談員の目標

老人ホームの普遍的なテーマの一つに、入居者・ご家族と相談員の関係があります。ただ単に入居者のお世話をするという関係だけでなく、入居者がそれぞれ自分なりの生活が出来るように配慮された場を提供する役割があります。その為には、皆様との意思疎通が重要となります。相談員がコミュニケーションをとる場は、①新規入所申込時 ②入所手続き時 ③入所後の日常状況の報告時 ④終末期の相談時 など機会はいくらでもあります。

私たち相談員は今期③に重点を置き、コミュニケーションの充実に努めます。6か月毎のケースカンファレンスだけでなく、普通の面会時にも情報交換したいと考えています。それには相談員も現場に入り、入居者の日常を正確に把握する必要があります。生の情報を皆様にお伝えすることにより、当法人が目指す「人の心を大切にする介護」を実現するように頑張ります。



栄養の目標

今年度は『安全に美味しく食事が食べられる』を目標に日々の栄養管理だけでなく、衛生面や入居者の状態に合わせた食事形態・種類の見直しを図っていきます。

また、新しい取組として、毎月の献立に各地域の郷土

衣替え

夏に備えて衣替えを実施いたします。その際、不足分があった場合は相談員から連絡させていただきますので、速やかにお持ち頂くよう、ご協力お願い致します。

料理を取り入れました。下記が年間の予定です。

4月 北海道・ちゃんちゃん焼き 5月 愛知・きしめん 6月 茨城・のっぺい汁 7月 岐阜・鶏ちゃん 8月 三重・トンテキ風 9月 石川・治部煮 10月・岩手・鮭の梅マヨ焼き 11月 山形・芋煮 12月 沖縄・にんじんしりしり 1月 福井・こっばなます 2月 新潟・呉汁 3月 佐賀・がめ煮

施設内理美容

前年度の1月から、訪問理美容あやめさんに入居者の散髪をお願いしています。これまでより髪型について細かい要望が出せたり、希望者には簡単なお化粧もしてもらえるようになりました。お化粧については、特に女性の入居者には好評です。「綺麗になった」「若い頃に戻ったみたい」と嬉しそうに感想を言ってくれます。身だしなみを整えたり、おしゃれをすることは年齢に関わらず心を豊かにしてくれます。

これからも入居者の方に喜んで頂き、心豊かな生活につなげていけるよう。訪問理美容あやめさんと協力していきたいと思っています。



1月～3月の行事風景



1月 初詣 お抹茶会 鏡開き 白玉ぜんざい作り



元旦・お正月では当施設内にて毎年恒例のイベント「お抹茶会」を喫茶コーナーにて開催しました。日頃なかなか会いに来れないご家族様も正月はみなさんご親族で集まってラウンジや喫茶コーナーで楽しく会話されながら、甘酒やお抹茶をおいしく頂きました。また、施設内に手作りの鳥居と賽銭箱・絵馬などを飾りました。正月気分あふれる楽しい空間が出来、入居者の方も大変喜ばれました。料理イベントでは白玉ぜんざい作りも行い、みなさん楽しんで白玉を作り、召し上がっていました。



寒さに負けない楽しいイベントを今年もたくさん開催しました。

2月 節分イベント 恵方巻き ピザ・明石焼き作り

2月3日(日)節分の日には職員が赤鬼、青鬼に扮して登場！入居者には豆の代わりにボールを投げてもらいました。



3月 プリ解体ショー ひなまつり

3/1に「プリの解体ショー」を開催しました。大きな寒プリを切れ味鋭い包丁でさばき、お昼はプリをお刺身にしておいしく頂きました。迫力もあつてとても大盛り上がりでした。

また3月と言えば「ひなまつり」当施設でも1階玄関先に大きなひな人形を飾りました。入居者の方も大変喜ばれ、1階まで一緒に見に行きました。



みんなで楽しく料理クラブ

料理は入居者の生活に密接に関わっています。「昔はよく子供たちにプリンを作ってたよ」「得意料理は厚焼き玉子」「お寿司が大好き」等皆さん楽しそうにお食事の話をして下さいます。料理をしない方や出来ない方でも食べることは好きな方も大勢いらっしゃいます。例えばドーナツをじゅわっと揚げる音や甘い香り、わいわいと料理を作るにぎやかな雰囲気も楽しみの1つだと思います。そんな楽しみも感じていただけるよう、毎月開催している料理クラブにパンなどの料理を新しく追加しました。

また、入居者全員が参加できるようあんまんやぜんざい等、味や見た目も普段の食事に近づけたのど

越しの良い「えんげ食」を作り始めました。えんげ食の導入により、例えば今まで白玉団子は飲み込みが心配だからと食べられなかった方でもお餅ゼリーを用意食べられるようになりました。ご飯はあまり召し上がられない方でも「また食べたい」「早く欲しい」と言ってくれます。

今後も皆様に楽しいと感じて頂けるような新しい企画を考えていきたいと思っています。

